

様式第2号（第5条関係）

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

○令和5年度第4回久喜市学校給食審議会

1 開会

司会（小林課長）

みなさんこんにちは。

定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第4回久喜市学校給食審議会を開催いたします。

なお、委員総数14人に対しまして、只今の出席者数は10人でございます。久喜市学校給食審議会条例第5条第3項に規定する会議の開催要件を満たしていることを報告させていただきます。

松本秀樹委員、松本浩二委員については、遅れるとの連絡をいただいております。

また、本日の傍聴者は1人でございますので、併せてご報告させていただきます。

2 あいさつ

司会（小林課長）

次に、青山会長からごあいさつをいただきたいと存じます。青山会長、よろしく願いいたします。

青山会長

みなさんこんにちは。秋がなく急激に冬の到来を感じる寒さとなっております。

久喜小学校では、本日給食試食会を行います。この試食会は、保護者だけではなく、学校運営協議会の方々、ボランティアの方々にも給食を召し上がっていただく予定です。

3年生の子ども達は9月に給食センターを見学し、本日は地産地消の推進や給食献立に出される野菜の販売を促すようなプレゼンテーションを行います。

このプレゼンテーションを保護者だけでなく、地域の方にも見ていただき、評価を得たものは野菜を購入するというような形で、ご覧いただいた方に評価をしていただきます。

そして、本日の給食を試食していただき、子ども達の学習と食生活を一連にして発信することで、食の課題解決に結び付けるような教育活動を計画しています。

学校給食審議会は様々な立場の方にお集まりいただき、本日は最終の答申を教育長に渡す重要な役があります。よろしくお願いします。

3 議事

司会（小林課長）

ありがとうございました。続きまして、議事でございます。

会議の進行につきましては、久喜市学校給食審議会条例第5条第1項において、会長が議長となる旨の規定がございますので、青山会長に議長をお願いしたいと存じます。

青山会長、よろしくお願いいたします。

議長（青山会長）

それでは、議長を務めさせていただきます。円滑に議事が進行いたしますよう、ご協力をお願いします。

はじめに、本日の会議録の署名人でございますが、名簿順で松本秀樹委員を指名したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

それでは、本日の議題である「答申書（案）について」進めさせていただきます。

はじめに、資料配付している答申書（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局（井出補佐）

学校給食課の井出と申します。資料1の答申書（案）について説明申し上げます。

答申につきましては、令和5年7月14日付け久教給第479号において諮問のあった学校給食費の改定について、本日、答申する予定でございます。

1として、令和6年度以降の学校給食費についてと記しておりますが、現時点で、将来的な物価動向を見通すことは難しいことから、いつまでという期限は定めずに令和6年度以降とさせていただきます。

内容としては、前段部分で審議会での検討状況の概要について説明したうえで、後段部分と表で学校給食費の改定（案）について示しています。

なお、改定額につきましては、第3回の審議会でご審議いただきましたように、現在の学校給食費から約12パーセント上乗せた額として、小学校については、日額273円、月額4,660円、中学校については、日額332円、月額5,580円を改定（案）とするものです。

次に、2の附帯意見につきましては、第3回の審議会において、平成28年度に審議会から提出された答申書と同様でいいのではないかとのご意見が多数ございました。また、学校給食における地産地消の推進や食育に関するご意見や今後の物価動向によっては保護者への負担軽減を考慮してほしい旨のご意見がございましたことから、そのような点を整理して作成いたしました。

順に申し上げますと、（1）として「地産地消や食育の推進を図り、子どもたちの笑顔があふれる安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めていただきたい。」（2）として「社会情勢等により、学校給食費の見直しが必要な場合には、当審議会での議論を十分踏まえ、適切に対応していただきたい。」（3）として「引き続き物価動向に注視し、急激な物価高騰が生じた際には、保護者負担の軽減を図っていただきたい。」（4）として「保護者への周知にあたっては、丁寧な対応をしていただきたい。」以上4点を附帯事項として記載いたしました。

答申書（案）についての説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

議長（青山会長）

ありがとうございました。本日は、答申書（案）についてご審議いただき、必要に応じて、修正後、答申書を提出する予定です。

それでは、説明のあった答申書（案）について、修正点や加えたい点等がございましたら、具体的にご意見をいただきますよう、お願いいたします。

田上委員

題名の「改定」と文中の「改訂」が違うのは、何か意図はありますか。

事務局（井出補佐）

文中の「改訂」は誤字です。修正いたします。

議長（青山会長）

細かなところも見ていただきありがとうございます。

伊勢委員お願いします。

伊勢委員

この答申書は、第3回審議会で審議した金額でよろしかったですか。

事務局（井出補佐）

そのとおりです。

議長（青山会長）

他にございますか。それでは、事務局は答申書の作成をお願いします。

本日の議事はこれで終了となりますので、以上をもちまして議長の任を解かせていただきます。

皆さんご協力ありがとうございました。

司会（小林課長）

青山会長、ありがとうございました。

それでは、このあと答申書の作成及び答申書提出の準備をいたしますので、暫時休憩といたします。再開は10時20分といたしますので、よろしくお願いいたします。

<暫時休憩>

4 答申書の提出

司会（小林課長）

再開いたします。次に、答申書の提出でございます。

久喜市学校給食審議会を代表しまして、青山会長から柿沼教育長に答申書を提出していただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

<青山会長から柿沼教育長に答申を渡す>

司会（小林課長）

ありがとうございました。

ここで、柿沼教育長からお礼のあいさつを申し上げます。教育長よろしくお願いいたします。

柿沼教育長

みなさんこんにちは。

ただいま、青山会長様から、学校給食費の改定についての答申をいただきました。

委員の皆様におかれましては、7月14日に諮問して以降、本日まで4回にわたり、慎重にご審議を重ね、答申書をご提出いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

答申の内容につきましては、重く受け止めさせていただき、今後、教育委員会において

審議してまいります。

さて、本市では学校給食における重点取り組みの一つとして、食物アレルギー対応の充実に取り組んでいるところでございます。

現在、卵と乳を使用する献立に対し、これらの食材を除去し、それに代わる食材を使用した代替食を提供しておりますが、令和6年度からは、対象食物として、新たに「えび」と「かに」を追加し、食物アレルギー対応のさらなる充実に図ってまいります。多くの子ども達が笑顔で給食を食べられるよう努めてまいります。

また、令和5年度の学校給食調理コンクールにおいて、本市の学校給食センターが提出した献立について、埼玉県学校栄養士研究会会長賞を受賞いたしました。これは県内3位相当です。栄養士の皆様、調理員の皆様、ご支援いただいている保護者の皆様、関係の皆様の努力の賜物だと考えています。

今後も、地産地消の推進や献立内容の充実に図りながら、安全、安心でおいしい学校給食を、将来にわたって安定的に提供していけるよう、学校給食運営に努めてまいりますので、委員の皆様におかれましても、引き続き、学校給食へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、委員の皆様方の益々のご活躍をご祈念申し上げまして、お礼の挨拶とさせていただきます。長い間本当にありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。

ご提出いただいた答申書につきましては、教育委員会に報告したうえで、学校給食費の改定について審議する予定でございます。

5 その他

司会（小林課長）

次に、その他でございます。

本日をもって答申をご提出いただきましたので、最後に、委員の皆様から、審議会のご感想、または学校給食に関するご意見などをお聞かせいただきたいと存じます。

恐れ入りますが、伊勢委員から順にお願いいたします。

伊勢委員

審議会に参加させていただきまして、給食が皆様の方で、安く提供できていたことに気づきました。感謝しております。

私はビーガンです。できましたら答申書の附帯意見にある食育で、動物が肉になるとき、犠牲になっていることや畜産によって多大な二酸化炭素が排出されていることを子ども達に学校で教えることを希望します。

ありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。続きまして、清野委員お願いします。

清野委員

この審議会に参加したのは、自身が学校栄養士をしており、その後栄養教諭を育てる大学で指導をしていたことから、興味があり参加させていただきました。

学校栄養士の仕事は、あまりご存じないと思いますが、概要を説明します。

まずは、子ども達の健康を考えた上で、文部科学省の栄養基準、食品構成を満たした献立を立てます。さらに、地産地消を意識した食材を使用し、調理指導をします。

現在、栄養教諭の数が少ないですが、食育指導もやりますし、ビーガンの話も出ましたけど、そのようなことも学校によっては学習していると思います。

給食を残しても、子ども達を叱れない時代ですが、子ども達が偏食をしたら困るので、そのことも考えながらやっています。アレルギーも時代とともにすごく多くなってきました。給食センターは、大丈夫かと思いましたが、アレルギーのこともすごく管理してお

り、よかったと感じています。

第 1 回の審議会の資料である給食費比較表を見たときに、給食費を無償化している市町村も増えてきているようですが、久喜市では、無償化する考えはありますか。

いずれにしても、給食費が決定しましたので、答申書の附帯意見に書いてあるような給食の指導を願い、感想とさせていただきます。

司会（小林課長）

ありがとうございました。続きまして、堀井委員お願いします。

堀井委員

久喜市でもフードバンク、フードポストをやっていますが、他国に比べて食に困る人たちは少ないように思います。しかし、学校の様子を見ていますと、保護者にしても子どもにしても、偏食とか家庭の献立など、課題が多いように感じています。

学校給食は、食育について大きな役割を持っており、世界に誇る日本の制度ではないかと思います。子ども達にバランスの取れた給食を提供しているわけですが、完食してこそバランスの良い栄養が取れるのではないかと思います。

1日に3回給食を食べるとすると、年間で全体の2割ほど給食に依存しています。ぜひ、今後も子ども達が完食できるようなおいしい給食を食べられるように、献立の工夫をお願いします。

司会（小林課長）

ありがとうございました。松本秀樹委員お願いします。

松本秀樹委員

現在、給食を食べる環境にいます。非常においしいと感じています。

残念なことに、どうしても残滓が残ります。残滓をどうやって少なくするのが問題と

思います。子ども達ごとに状況が違いますが、食の細い子もたくさん食べられるような献立の工夫をしていただきたいと思います。

1点お伺いしたいのが、どの程度の残滓があるのか、どのように処理しているのか、廃油はどのような扱いで処理しているのか教えていただきたいと思います。

司会（小林課長）

ありがとうございました。いくつか質問をいただいておりますが、最後にまとめて回答させていただきますと思います。続きまして、田上委員お願いします。

田上委員

学校の子ども達は、給食を楽しみにしています。令和でも、給食が楽しみで学校に来る子どももいます。

審議会の中で、物価上昇に伴う給食費の改定があったわけですが、予測困難な時代ではありますが、これに負けないように子ども達の力を伸ばしていきたいと考えています。

審議会では大変お世話になりました。ありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。松本浩二委員お願いします。

松本浩二委員

この審議会で参加させていただき、給食センター自体も初めて来ましたが、素晴らしい建物だと思いました。見学コースもあり、みんなに参加してもらいたいと思うので、呼びかけていきたいと思います。

給食は、食べられて当たり前だと思っていましたが、みなさんのお力で、安全・安心でおいしい給食が食べられていることを改めて知りました。

今後とも、おいしい給食の提供をお願いします。

司会（小林課長）

ありがとうございました。根本委員お願いします。

根本委員

学校薬剤師をやっており、学校環境衛生立場において参加させていただきました。

過去にもこちらの審議会に参加させており、顔見知りの委員もいます。

前の審議会でもありましたが、残滓について各地域でどれだけ差があるのかは気になりますし、学校給食費の無償化について、できれば望んでいます。また給食費の収納率、滞納について、今はどうなっているか知りたいと思っています。

学校薬剤師の立場として、これからも学校給食の安全のために、学校に指導したいと考えています。給食センターにも年3回立ち入りをして検査をしている現状です。

ありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。吉田委員お願いします。

吉田委員

保健所の立場からいうと、学校給食と保健所は、主に衛生管理面とアレルギーについての係りが多いと思います。会議に出席させていただきましたが、安全面も大事ですが、子ども達の発達に配慮した、おいしくて安全な給食を提供するために、多くの方々関わっていることがよくわかりました。本当に良かったと思います。

ありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。岡安委員お願いします。

岡安委員

県内で何校かは、バイキング給食を年に何回か提供していることを聞いたことがあります。久喜市では、バイキング給食を出す計画はありますか。もちろん残滓とかいろいろな面で大変なことですが、年に何回かイベント的なことがあるのか伺いたと思います。

司会（小林課長）

ありがとうございました。吉野委員お願いします。

吉野委員

この審議会に参加するまでは、学校給食費についてあまり考えたことはありませんでした。委員の皆様の意見を伺ってありがたく思っています。皆様が違う立場で、違う角度から合理的に、具体的に話し合いができて、素晴らしい審議会だと思っています。

司会（小林課長）

ありがとうございました。鈴木副会長お願いします。

鈴木副会長

私は、給食センターで調理の仕事しており、午前中は調理し、午後は食器・食缶を洗ったりしていますが、他の委員がおっしゃっていたように、残滓の件は常々考えておりました。学校によっては、汁物の残滓が大量にあり、腰を痛めるほど重いです。学校で、残滓を減らす取り組みが必要だと思います。

「おいしい給食」というドラマがやっていますが、見ていると給食を食べられる状況にあるのはありがたいと思いました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。最後に青山会長お願いします。

青山会長

皆様大変お世話になりました。審議会の会長として、まず、事務局から必要でわかりやすい資料の提供を受け、委員の皆様にはそれぞれの立場から学校給食費の改定について様々な建設的なご意見をいただき、活発に審議でき、より良い答申書を提出できたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、学校長の立場として、委員の皆様からいろんなご意見・感想をいただき、残滓のことや食の環境問題など、いろんなご意見をいただきまして、これらを学校教育の現場に持ち帰り、よりよい食育の指導、食生活を豊かにすることに繋げていきたいと考えました。本当にありがとうございました。

司会（小林課長）

ありがとうございました。いただいたご質問に回答させていただきます。

まず、学校給食の無償化についてです。現在、国で実態調査を行い、そのうえで課題を整理し、具体的な方策について検討することが示されております。市では、国の動向を注視してまいりたいと考えています。

続きまして、残滓についてです。学校給食センターの開所時は、ちょうどコロナ渦であり、給食センター開所前よりも残滓が増えている状況であり、現在11パーセント程度です。これは、コロナの影響で黙食し、机を向かえ合わせではなく前を向いたまま食することなどが、起因しているのではと考えています。市でも残滓は課題と捉えており、コロナが5類に移った一方、インフルエンザが流行していることもありますので、状況も見えながら、残滓を少なくする努力をしていきたいと考えています。

3点目に廃油についてです。油は、基本的に使用後、濾過機を通して、可能な限り使用することとしています。どうしても古くなったものは業者に売却している状況でございます。

4点目の学校給食費の収納についてです。教育委員会では、徴収の年間計画を定め、督促・催告書の送付、支払の意思が見受けられないときは、裁判所を通じた法的措置を実施

しています。収納率は99パーセント以上になっています。

最後に、バイキング給食についてです。現在、バイキング形式での提供は難しいところですが、できるだけ子ども達の意見を聞くため、リクエスト給食を実施しています。人気がある献立を子ども達へ提示し、アンケート形式で回答をもらい、その上位のものを提供している状況です。あとは、毎月献立検討会議を行い、学校の先生や保護者も参加している会議を行っています。その中でもリクエストをいただいたものは、できる限り提供するように努めているところです。

今後も、給食に関してご意見がありましたら、できる限り応えていけるよう努めてまいります。いただいた意見は、今後の給食運営の参考にさせていただきます。

6 閉会

司会（小林課長）

令和5年度における学校給食審議会につきましては、諮問の予定がございませんので、本日をもって終了となります。

委員の皆様には改めてお礼申し上げます。

それでは、以上をもちまして、令和5年度第4回久喜市学校給食審議会を閉会させていただきます。

本日はありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年12月7日

久喜市学校給食審議会

会長 青山 里美

委員 松本 秀樹

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。